

# あにわにわ 通信

## 第24号

「あにわにわ」とは、ニュージージーランドのマオリ語で「虹」を意味しています。

2014.6.20

特定非営利活動法人あい・ぽーと・ステーション発行

代表理事：大日向 雅美・新澤 誠治

### 子育てひろば「あい・ぽーと」

住所：107-0062 東京都港区南青山 2-25-1  
電話：03-5786-3250 FAX：03-5786-3256

E-mail：[info@ai-port.jp](mailto:info@ai-port.jp)  
URL：<http://www.ai-port.jp>

### 人材養成事業推進室

住所：106-0031 東京都港区西麻布 2-24-25-509  
電話：03-6657-8539 FAX：03-3499-8539

E-mail：[station@ai-port.jp](mailto:station@ai-port.jp)  
URL：<http://www.ai-port.jp>

### 法人代表理事

大日向 雅美

梅雨明けが待たれる今日この頃です。いかがお過ごしでしょうか？ 常日頃、地域の子育て・家族支援にご尽力をいただいておりますこと、深く感謝申し上げます。

さて、これまで「あにわにわ」では、支援者の皆様のご活動やお声を紹介してまいりましたが、本号では、利用者の方々のお声をお伝えいたします。各地で皆様に支えられながら子育てに励んでおられる保護者の方々のお声に、地域での子育て支援の大切さを思い、港区・浦安市・千代田区・高浜市のご助成を有難く思います。これからの保護者の方々から感謝のお声をたくさんいただけるよう、支援活動にお力をお尽くし下さいますよう、改めて御礼と共にお願いたします。

向暑の折、  
ご愛ください。



### 千代田区役所 子ども・教育部 児童・家庭支援センター所長 恩田浩行

千代田区児童・家庭支援センター所長の恩田と申します。子育て・まちづくり支援プロジェクトの皆様方には、日ごろから、千代田区の児童健全育成事業にご協力いただき、誠にありがとうございます。

さて、企業等でお仕事をされていた皆さんが、これまでの経験を活かしながら地域で活動を始めようとして、イメージどおりにできないという声を耳にします。これは、新たに地域活動を始める際には、既存のコミュニティに入り、ほぼゼロから始めることが通例だったことによるものだと思います。

この点、子育て・まちづくり支援プロジェクト・サーは、講座で一定のスキルを身につけて、それを使いながら、これまで仕事で培ってきた経験やノウハウを生かす形で活動を始めるので、より早く地域にデビューできる優れた仕組みだと思えます。

今後の皆さんの活躍に期待するとともに、これまでになかった新たな活動にチャレンジしていただき、より多くの地域のみなさんと笑顔をかち合う存在になつていただきたいと思います。

### 子育て支援担当課長として

浦安市子ども家庭課長 本田 恭代

浦安市が初めて子育て係を設置した時から席を置き、最初に携わった事業は子育て・家族支援者養成講座でした。市民と相対した、あい・ぽーとの皆様とともに奔走したことを思い出します。

今では、講座で養成した人材を活用し、新しい事業をいくつも展開するまでになりました。それらはどれも先駆的な取り組みであると自負していますが、人材養成なくしては、できなかったと痛感しています。

事業の担当者として市民の方を前に奔走していた時とは異なり、部下を見守る立場には変わりましたが、今までの経験を、経験してきた者の立場で伝えられ、担当課長としてこれからはさらに必要とされる子育て支援事業の舵取ができればと考えています。

### 港区子ども家庭支援センター

子育て支援係長 細田智之

四月一日付で、子ども家庭支援センターの子育て支援係長となりました。これまで高齢者を対象とする介護保険や高齢者医療制度の仕事をしてまいりましたが、四月からは子育てを支援する担当となり、初めは非常に戸惑いました。子育てに関する専門的な言葉がわからず、あい・ぽーとの皆様には大変ご迷惑をお掛けしております。大日向施設長をはじめスタッフの皆様と話すこと、ひとつひとつが新鮮でもと勉強になっていきます。

子育て支援を受けた人々が、子どもの成長とともに、今度は支援する側になるという、子育て支援の循環システムは本場にすばらしいシステムであり、あい・ぽーとの存在なしでは成り立たないと思えます。

今後あい・ぽーとの皆様のお力や知識をお借りしながら、子育て支援に少しでも役立てよう頑張る仕事を進めて参ります。どうぞよろしくお願いたします。

### 高輪児童館への新任の挨拶

港区高輪児童館 館長 星野 裕子

四月一日より、高輪児童館館長となりました。星野裕子です。本年三月までは、子ども家庭支援センターでの支援者の方々に講座・講演会・セミナー等々の際、大変お世話になりました。また、昨年四月より子ども家庭支援センター親子ふれあい広場で、「広場コシエルジュ」もスタートすることができました。

今回、七月十九日(土)「高輪児童館えんにち」に、「まちづくり支援プロジェクト」の方々にお声掛けさせて頂いたところ、快くお引き受け頂きました。当日は、紙芝居やロープワークなどのお店を出していただきます。大日向先生を始め、スタッフの方々のご協力を得て、今後も港区の子どもの成長を応援して行きたいと思っておりますので、よろしくお願いたします。

### 高浜市子ども育成グループ

主査 松川文香

日頃より「あい・ぽーと・ステーション」の皆様には大変お世話になっております。私が家庭的保育に携わるようになって今年で三年目です。初年度は家庭的保育者の方々が抱える保育に関する悩みや疑問等を一緒に考えるお仕事をさせていただきました。そして昨年度から子育て家族支援者養成講座にもかかわらせていただき、高浜市の家庭的保育室の保育の充実に微力ながら尽くしてきました。そして今年度も引き続き高浜市の子育てに力を発揮してもらえよう支援者の養成と各現場で現在活躍されている支援者の支えになっていけるように頑張っていきたいと思っております。今後「あい・ぽーと・ステーション」様にはお力添えをいただき変わらぬご支援を賜りますよう、よろしくお願いたします。



## ★利用者さんからの声★

### 家庭的保育室

#### 〈千代田区〉

- 小さな家は開所の日から利用させて頂いております。当初は「家庭的保育事業」に対する不安もありましたが、保育主任の方、支援者の皆様のきめ細やかな保育の中で息子は成長しております。近隣のこども園などの連携も多く、小さな組織でも豊富な活動メニューがあります。毎晩「おたより帳」を家族で読み、小さな家での息子の様子を想像したり、子供と接する上でのヒントを頂いたりすることが、家族の大きな支えになっています。(赤谷さん)

#### 〈浦安市〉保育ママを利用している保護者へのアンケートより抜粋

- 人数が少ないので、遊びや食事を子どもの体調や状況に応じて合わせてもらえること、アットホームでリラックスでき、親子ともに居心地がいいです。
- 少人数、家庭的な雰囲気での保育は、子どもにとって「第2のお家」みたいです。
- 感染症などの病気が断然少なかったです。昨年度病欠したのは2日間だけ。それ以外は早退すらなく皆勤に近かったです。
- 毎日の送り迎えの時、情報交換のように子どもたちのことを先生(保育ママ)とゆっくりお話しできるところがすごく楽しいです。
- 連携保育園があるので、保育園児と一緒に過ごす交流や定期的に健診も受けています。私は、保育園ではなく保育ママにしてよかったと思っています。

#### 〈高浜市〉

- 我が家の娘は平成24年4月から2年間、高浜市の家庭的保育おひさまにお世話になりました。娘はダウン症のある子で、1歳1ヶ月で通い始めた頃はまだハイハイで、中期の離乳食を食べていましたが、少人数のゆったりした雰囲気での愛情たっぷりの保育があったようで、着実に成長していきました。少人数ということもあり、電車でお出かけにもよく連れて行ってもらい、娘にとっては貴重な2年間だったように思います。生活習慣も少しずつ身に付け、今年度から認定こども園の年少さんになりましたが、スムーズに園生活にも慣れて、楽しく過ごしています。(内藤さん)
- おひさまで毎日公園へ連れて行ってもらったり、電車に乗せてもらったり、プールや遠足、お楽しみ会といろいろな楽しい体験をさせて頂き、心も体もとっても大きくなれたと感じています。先生方の作り出してくださる優しい雰囲気にも助けられ娘はのびのびとおひさまで過ごすことができ、私も安心して仕事に向かうことができました。初めての保育の場がおひさまで、そして先生方に出会うことができ娘も私も本当に幸せだったと思います!!(松井さん)

### 浦安市

#### 〈子育てケアマネジャー〉

相談室

- 「一日、子どもと向き合っていると、大人と話すことさえないので、話ができてスッキリした。」  
「子どもの悪いところばかりが目についたが、違う側面からの話が聞けてよかった。」  
「話を聞いてもらえるだけで、ほっとします。子どもが、初めて保育で離れられたことに驚き、一時保育も利用したいと思いました。」  
子育て総合窓口  
「ずっと、もやもやしていたが話を聞いてもらって気持ちが落ち着いた。」

#### 集いのひろば「こんぺいとう」 ※ 毎月のアンケート回答より抜粋

- 初めての子育てで何も分かりませんでした。色んなお母さんと会話ができ楽しかった。
- 月齢・年齢で楽しみ方が違い、各々の子どもの成長がみられるのも嬉しいです。
- 「手作りおもちゃ」も楽しく、身体を動かす時間は親のいいリフレッシュにもなります。  
〈中央・当代島公民館こんぺいとうひろばより〉
- 育児の相談や遊び方など色々教えて頂き、温かい見守りの雰囲気の中で安心して過ごせる場所です。
- 広く安全な場所で、予約なしで毎日気軽に遊びに来ることが出来、自分の気分転換にもなります。  
〈高洲児童センターこんぺいとうサロンより〉

#### 集いのひろば「ほこほこ」

- 子どもと家にいるとストレスがたまるけど、いろんなママとお話しできるし、スタッフさんが子どものことも見てくれるので、毎回楽しみにしています。
- 先輩ママのお話を聞いて、同じような時期がありましたよと言われ、ホッとしました。
- 子どもも楽しそうです。お友達もできて、いつも新しいことを覚えて帰ってきます。



### 港区

#### 〈施設型一時保育あおば〉

- 週に数回の仕事の為、評判の良さをきっかけに出産前から考えていたのが『あおば』でした。施設を訪れると四季豊かなお庭を正面に、安心できる空気が流れていたのが印象的です。もうすぐ2歳になりますが、利用して1年になります。小さな赤ちゃんから小学生までの異年齢交流は娘にとって充実した社会生活の連続で、いつも支援者の方々に可愛がって頂き感謝しています。私としては母としての学びと、地域との接点を持つ事ができるようになり、親子共に出発点とさせて頂き歩んでいます。(岡本さん)
- 「あおば」の扉の向こうは親にとっては未知の世界。どんなお友達や保育者さん達と一緒にだったのか…。 “保育中の記録”に何をして遊んでいたかが書いてあっても、イメージできないこともあります。その中に、記録者の方が子供と接して感じた気持ちを添えた一文があると、子供の姿が目浮かび安心します。実はほぼ毎日お世話になっているのでご迷惑ばかりお掛けしていますが、愛され育てられている事を大変感謝しています。(佐藤さん)



#### 〈派遣型一時保育〉

Nさんには、小1の息子は年中組の頃から主に習い事の送り迎えでお世話になっています。卒園の頃の沢山の方々とお別れの時期、息子はNさんとお別れするのはいやだと涙を流しました。大丈夫!大丈夫!Nさんがもうしばらくあなたの送り迎えをしてくださると言ってくれたよ、と伝えた時の息子の安心した表情、これが息子のNさんへの気持ちのすべてです。Nさん、まだまだ頼りない息子のことをこれからもどうぞよろしくお願いいたします!(藤原さん)

#### 〈ひろばコンシェルジュ〉ひろば利用者アンケートより抜粋



- 子どもを2人連れていると、上の子をトイレに行かせる際などに下の子を見ていて下さるなど、とても助かっています。子どもと荷物で手いっぱいになるとバギーを外に出して下さったり、細やかな気配りもありがとうございます。
- トイレや外にワゴン車でお昼を買う時など、ちょっと子どもと離れる時などに、子どもをみていただけるのは、とても助かります。

### 千代田区

#### 〈訪問型一時保育〉

- 第二子が生まれ、お世話になっています。実家も遠く、両親に負担をかけずに自分の出来る範囲でと思うと、子供は二人が限界と考えておりましたが、支援して頂き、もう一人増えて大丈夫と思えるようになりました。本当は可愛い子供たちにたくさん囲まれて生きていきたい、でも実際は難しい。そう思う方は大勢いると思います。あいぼーとさんは大きな問題の一つを解決して下さい、うちの第三子の夢もそう遠くはないのではと思っています。いつも本当に有難うございます。(Mさん)
- 私があい・ぼーとさんのことを知ったのはちょっとした偶然でした。しかし利用するうちにやはり支援して下さる方は近所の方で、かつ、いつも同じ方であるのが一番と実感しております。夜勤も含めたフルタイムでの復帰を安心して出来ているのはあい・ぼーとさんのおかげと日々実感しております。これからもずっとお願いできればと思っています。(手塚さん)

### 子育て・まちづくり支援プロデューサー

#### 〈まちぶろタイム〉ひろば利用者アンケートより抜粋

- お天気も良く外で聴くハーモニカは、どこか懐かしくとても良かったです。子どももちゃんとハーモニカを聴くのは初めてだったので、じっと聞き入っていた。いい時間が過ごせたと思います。
- 子どももシャボン玉が大好きですし、ハーモニカのやさしい音色に私も癒されました。
- 娘が知っている歌をたくさん演奏して下さい、ありがとうございました。
- 家ではなかなか折り紙やあやとりなど昔ながらの遊びが出来ず、母も忘れていたので、またこのような機会があると助かります。
- 紙芝居を読んでもいただける機会もあまりなく、とてもいい経験になりました。子どもも喜んで楽しむことができました。ありがとうございました。



## 【バックアップ研修情報】

### 〈港区〉

七月二十五日(金)  
①十三時～十四時三十分(三級)  
②十四時四十分～十六時十分(二級)  
内容 支援現場における課題と助言  
講師 大日向 雅美(恵泉女学園大学大学院教授  
本法人代表理事)

会場 あい・ぽーと二階ホール  
九月十八日(木)  
①九時～十二時  
②十三時～十六時  
内容 救命救急  
講師 赤坂消防署  
会場 赤坂消防署

十月二十七日(月)  
①十時～十一時三十分 } グループ分け  
②十三時～十四時三十分 } 未定  
内容 あい・ぽーとの活動を振り返って  
講師 大日向 雅美(恵泉女学園大学大学院教授  
本法人代表理事)

会場 あい・ぽーと二階ホール  
七月十七日(木)十時三十分～十二時  
内容 気になる子どもと親への理解と関わり方  
講師 三隅 輝見子  
(川崎市南部地域療育センター)  
会場 さくら館内教育研究所 七階研修室

### 〈千代田区〉

九月十九日(金)十三時三十分～十五時  
内容 支援現場における課題と助言  
講師 大日向 雅美(恵泉女学園大学大学院教授  
本法人代表理事)

会場 西神田児童センター・小ホール  
十月十四日(火)十時三十分～十二時  
内容 バレエストレッチ  
講師 佐野 明子(佐野明子バレエ教室主催)  
会場 西神田児童センター・体育館

### 〈浦安市〉

#### 〔支援者〕

七月十八日(金)十一時～十二時三十分  
内容 国の施策等の情報提供と活動状況  
報告及び課題解決に向けた助言  
講師 大日向 雅美(恵泉女学園大学大学院教授  
本法人代表理事)

会場 文化会館 中会議室  
九月十七日(水)九時～十二時  
内容 普通救命講習  
講師 浦安市消防本部  
会場 浦安市消防本部 多目的ホール

十月十五日(水)時分～時  
内容 読み聞かせ・応用編(事前課題あり)  
講師 中村 柁子  
(元青山学院女子短期大学非常勤講師)

#### 〔児童育成クラブ指導員〕

十月七日(火)十時～十一時三十分  
内容 活動状況報告及び課題解決に向けた助言  
講師 野中賢治  
(財団法人 児童健全育成推進財団  
企画調査室 室長)

会場 文化会館 第一会議室  
十二月九日(火)十時～十一時三十分  
内容 活動状況報告及び課題解決に向けた助言  
講師 野中賢治  
(財団法人 児童健全育成推進財団  
企画調査室 室長)

#### 〔ケアマネージャー〕

七月十八日(金)十三時～十四時  
内容 国の施策等の情報提供と活動状況  
報告及び課題解決に向けた助言  
講師 大日向 雅美(恵泉女学園大学大学院教授  
本法人代表理事)

会場 未定

九月二十六日(金)  
十六時～十七時三十分  
内容 国の施策等の情報提供と活動状況  
報告及び課題解決に向けた助言  
講師 大日向 雅美(恵泉女学園大学大学院教授  
本法人代表理事)

#### 〔家庭的保育者・現任研修〕

十一月二日(金)十一時～十六時四十分  
内容 「最近の児童福祉」、「フリーストエイド」、「アレルギー・感染症への対応と対処」の3テーマ  
講師 大日向 雅美・関根幸八・並木美砂子  
\*詳細は保育幼稚園課よりお知らせします。

#### 【子育て・家族支援者養成講座情報】

##### 開講中

【港区】子育て・家族支援者養成講座 (二級十三期)  
二〇一四年五月十六日(金)～  
二〇一四年七月二十五日(金)  
受講生 九名 単位履修 三名

【千代田区】子育て・家族支援者養成講座 (三級期)  
二〇一四年五月十二日(金)～  
二〇一四年七月十四日(月)  
受講生 十名 単位履修 五名

【浦安市】子育て・家族支援者養成講座 (三級九期)  
二〇一四年五月九日(金)  
受講生 四十五名 単位履修 三名

## 【家庭的保育室の紹介】

子ども・子育て支援新制度でも、地域型保育給付の一つとして、家庭的保育事業など地域の実情に合わせた保育が注目されています。

今回は、高浜市の家庭的保育事業です。高浜市にある5つの家庭保育室の一つ「おひさま」をご紹介します。

高浜市家庭的保育おひさま 伊藤亜里沙

「いきいき広場」という市役所の出張所等のある建物のフロアの一角に部屋があり、隣には作業療法士・保健師さんたちのいる「発達センター」という施設があります。おひさまは障がいのある子どもも受け入れているので、療法士さんに子どもの姿を見に来てもらい保育士や保護者がアドバイスをもらうなど、連携しながら保育しています。また、施設が駅に直結しているので、毎日電車を見にだけ、時には電車に乗って近隣の家庭的保育を訪ねたり、隣町までお出掛けしたりする事も。子どもたちも「また乗りたいな」と楽しみにしているようです。

